

短期入所 さらい



玄関から談話室に向かう廊下



居室です



浴室 リフト設置
ストレッチャーも配置しました

4月から始まった短期入所事業。

現在は、見学⇒アセスメント・契約⇒利用を繰り返している時期ですが、たくさんの方との出会いを楽しませていただいています。

利用は最大でも6名ですので、アットホームな雰囲気の中、入浴や食事の他に、本を読んだり、タブレットで楽しんだり、職員も一緒に楽しい時間を過ごしています。皆さん、「一人で個室」よりも「皆で談話室」で、それぞれの好きなことややりたいことが少しずつみえてきて、一晩でより理解が深まるという不思議な感覚です。はーとわーくにとっては初めての宿泊施設ですが、たくさんの方の利用者さんに便利に利用していただけることを願って、職員一同支援させていただきたいと思えます。



多機能トイレ 車いすも
ゆったりと入れます。



談話室。奥にみえるのはキッチンです。普通食から、一口大、刻み、ペーストにも対応しています。壁にかかっているTVは夜のお楽しみ。皆と違う番組が見たい時はポータブルTVで対応。

6月19日(木)、前橋市東公民館において東京福祉大学社会福祉学部の立松英子教授を講師にお迎えし「言葉によるコミュニケーションが困難な子どもの発達支援」をテーマにした講演会を開催しました。放課後等デイサービス職員や保護者等、約90名の参加者で会場がとても狭く感じられました。みなさん熱心に受講されていました。



リレートーク

今年も半分が終わってしまいました。歳を取るほど月日が早く感じるのは「トキメキがなくなったからー！」と、あのチョコちゃんが出ていました。「もっと生きてんじゃねーよ！」と、叱られてしまいそうな気がします。でも最近、遅ればせながら“米津玄師”と“Lemon”に、ちょっとだけトキメキしている今日この頃です。日々の小さなことに、トキメキを見つけられる心の余裕を持っていたいものですね。
(大澤典子)

<編集後記> ・今年度最初の機関紙発行が遅れてしまい大変申し訳ありません。(青木)

・最近上手いかない事を梅雨のせいにする事も多かったのですが(笑)ふと見た草木の、降り続く雨にも負けず、文句も言わず耐えている姿に自分のヘタレを反省。気づかせてくれた植物に感謝です。(伊藤)

はーとわーく通信

令和元年7月発行 第8号

発行者：社会福祉法人はーとわーく

〒371-0823

群馬県前橋市川曲町176番地1 TEL027-289-3514 FAX027-254-0185

Email: hatowaku@wonder.ocn.ne.jp

HP: <http://hatowaku.or.jp/>



新しく短期入所と生活介護事業がはじまりました!

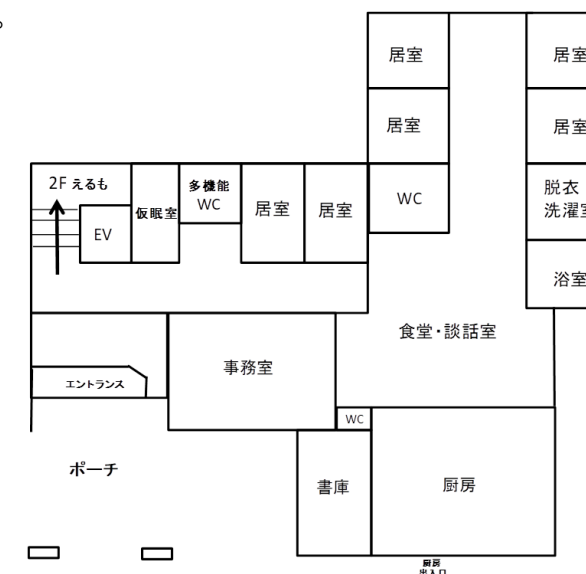
今年度より新しく短期入所と生活介護事業が始まりました。

昨年度、工事着手し、3月末によく完成!

1階が6名の単独短期入所、2階が20名の生活介護です。

はーとわーくとして主に身体障害の方の生活介護「ふれも」(20名)と知的障害の方の生活介護「えるも」(20名)そして、医療的ケアのない方であれば誰でも利用できる短期入所「さらい」(6名)が整いました。

短期入所があっても本当に利用したい時に利用できなかったり、いつもいっぱいご予約の電話すらつながらない、という声をよく耳にします。社会資源としてはあるものの、定期利用や長期利用で、もともと少ない受入れの上にさらに使いづらくなっているのが現状です。少しでもそれを解消できればという願いのもと、短期入所というハードルの高い事業に踏み切りました。たくさんの方にご利用いただき、ご本人やご家族の生活の中で一つの安心材料になれば幸いです。



新しく事を始める時、というのは、色んなところにアンテナを張り巡らして、次々と思考と決断を繰り返していますが、そのことにいっぱいいっぱい、法人が、そして自分がどのような状況にいるのかがよくわからないまま突っ走ってしまうことがあります。そんな時の道しるべは一緒に働く仲間だと、ことあるごとに思います。何が正しいのかわからなくなったら、「誰のために」「何のために」に立ち返り、そして職員とともに前に進みたいと思います。それが必ず社会に必要とされていることだと信じて。(山本)



生活介護 ぷれも

今までは色々な障害の方が一緒に活動していましたが、4月より車椅子利用の方の生活介護となり、今まで以上に身体的なことに特化した支援を行っています。そして、今までと同じように、一人一人自分の持っている力が発揮できるよう、作業や創作活動等にも取り組んでいます。下の写真は母の日の創作です。心をこめて感謝の気持ちを！！
一つ一つの活動が一人一人にとってよりよく、より楽しくなるようにと職員も一丸となって密な支援を行っています。



生活介護 えるも

4月15日、ぷれもから分かれて車椅子利用でない方の生活介護として事業が始まりました。階下で始まった短期入所事業所「さらい」の掃除も皆で手分けして行っています。一人一人の個性に合わせ、作業も班分けをしたり、個別活動にもしっかり取り組んでいます。今まで以上にフットワーク軽く、短・中・長距離に分かれて散歩をしたり、数台の車に分かれて、作業用の仕事を取りに行ったり、買い物に出かけたり・・・隔週で行く図書館も楽しみの一つです。
そして、毎日仕事をがんばって、「お疲れ様！」と工賃を渡した時の皆の誇らしげな顔！(*~*)
工賃支給日は、お金を持って、近くのお店に行き、アイスやプリン等好きなものを購入して皆で食べるのも大切なお楽しみになっています。一日の中で役割があって、やりがいを持って、職員や仲間と笑顔で過ごせるようにと日々願いをこめて！



居宅介護 ここみ

毎日たくさんの方の支援をさせていただいています。障害の方、小さなお子さんから高齢者まで、ご利用下さる方の幅はとて広く、ご自宅で行う支援なので内容も多岐にわたります。ということは支援者にも幅広い知識と技術そして包容力が必要で、居宅介護ってなんて大変なんだろう、と思う反面、日々勉強、そして「なるほど」と思うこともたくさんあります。利用者さんの優しい一言に癒されて、毎日、あちこちに飛び回っています。ちなみに、ここみの提供範囲は、前橋・高崎・渋川・吉岡・榛東・玉村・沼田・・・本当に飛び回っていますよね！



はーとわーくの研修

H31.1.16
生活習慣病・ハーバリウム作り



H31.2.28
タッピングタッチを体験してみよう



H31.3.14
救急救命



H31.4.11
交通安全



R1.5.14
防犯



R1.6.3
感染症



放課後等デイサービス みらい

新年度を迎え、新しい環境にも慣れ、楽しい活動が始まっています。冬休みは初詣や近くのカフェにおこづかいを持ってパンを買いに行ったり、春休みはポカリスウェットの工場見学、「えんとつ町のプペル」ひかる絵本展で不思議な空間を体験など、色々な経験をしています。

